

ナブコ自動ドア 取扱説明書

引き戸（スライディングドア）



- ・安全上特に重要な注意事項は、⚠のマークで示しています。
- ・取扱説明書の内容を十分に理解してから装置を取扱ってください。また、取扱説明書に記載されている指示は必ずお守りください。
- ・取扱説明書はわかりやすい所に大切に保管し、いつでも活用できる状態にしてください。
- ・全国自動ドア協会が策定している「自動ドア安全ガイドライン」の内容を理解し、ガイドラインに沿った安全対策を実施してください。

はじめに

この度は、ナブコ自動ドア装置をご採用いただき、誠にありがとうございます。
ナブコ自動ドア装置は「生活空間に安全・安心・快適を提供する」を基本理念に設計・製造しています。

この取扱説明書（以降、本書）は、施設所有者および管理責任者の方が、自動ドア装置を安全に運用いただけるように編集したものです。

目次

はじめに.....	1	自動ドアの初期動作について	10
重要なお知らせ	2	自動ドアの開閉モードについて	11
安全について	2	全自動モード	11
移設や移管について	2	全半開モード	12
分解／改造について	2	ラチェットモード	12
装置の廃棄について	2	日常の運用	13
著作権について	2	始業と終業の操作	13
国外への持ち出しについて	2	停電時の対処	14
安全上のご注意	3	日常のお手入れ	15
警告表示の種類と意味	3	故障かな？ と思ったら	16
運用上のご注意	3	保守点検について	17
利用される方へのご注意	4	品質保証とアフターサービス	18
安全ガイドラインについて	6	ナブコネットワーク	
装置の概要	7		
本書の対象製品について	7		
装置の構成	7		
センサーの機能について	9		
センサー取扱い上の注意	9		
起動センサーの機能	9		
補助センサーの機能	10		

・ 本書の内容を無断で転載しないでください。
・ 装置の改良などにより、本書の内容と装置の一部が異なる場合があります。
・ 万一、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替え致します。その際は、装置に表示されている問い合わせ先、あるいは巻末の「ナブコネットワーク」までご連絡ください。

重要なお知らせ

● 安全について

装置を安全にお取扱いいただくため、次の注意事項を必ずお守りください。

- ・装置の破損や人身事故防止のため、ご使用前に本書をよくお読みいただき、必ず記載内容をお守りください。また、本書に記載されていないことは、決して行わないでください。
- ・装置の取扱いおよび施設管理は、全国自動ドア協会が策定している「自動ドア安全ガイドライン」の内容を理解している方が行ってください。また、ガイドラインに沿った安全対策を必ず実施してください。
- ・自動ドアには「自動ドア表示ステッカー」と「警告表示ラベル」「戸袋警告用ラベル」を貼り付けてご利用ください。(6ページ参照)

● 移設や移管について

装置を他に移設または移管される場合は、本書とともに「自動ドア表示ステッカー」、「警告表示ラベル」、「戸袋警告用ラベル」も新しい管理者へお渡しください。

● 分解／改造について

装置の分解および改造は決して行わないでください。

お客様による分解および改造が行われた場合、弊社は一切の責任を負いません。

● 装置の廃棄について

装置の廃棄については、活動する地域における法令を確認し、その内容に則ってください。廃棄する場合は、認可を受けた専門業者と廃棄処理委託契約を締結し、廃棄処理を委託してください。

● 著作権について

本書の著作権は弊社が所有しています。弊社の許可なしに本書の内容を転載、複製することは禁じられています。

● 国外への持ち出しについて

本書の対象となる装置は日本国内専用品です。日本国外では使用できません。日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

警告表示の種類と意味

本書では、人身事故や財産への損害を未然に防止するため、以下のような警告表示を用いて説明しています。

表 示	危害・損害の程度
 警告	誤った取扱いをすると、使用者が死亡・重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると、使用者が軽傷を負うことが想定される内容を示しています。
注意	誤った取扱いをすると、物的損害を招くことが想定される内容を示しています。

表 示	意 味
	禁止：してはいけない内容を示します。
	指示：しなければならない内容を示します。

運用上のご注意

施設所有者および管理責任者の方は、自動ドアを運用するにあたり、以下の注意事項をお守りください。

警告

異常発生時の注意

- ❶ **異音、異臭がする、煙が出ているときは、速やかに電源スイッチを OFF にする**
出火および火災のおそれがあります。

装置に表示されているお問い合わせ先、あるいは巻末の「ナブコネットワーク」までご連絡ください。

停電・落雷時の注意

- ❶ **停電のときは、電源スイッチを OFF にする**
電源スイッチが ON のまま停電になると、通電時に自動ドアが予期できない動作をし、事故を招くおそれがあります。
- ❶ **落雷のときは、電源スイッチを OFF にする**
感電のおそれがあります。

● 運用上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

事故防止に関する注意

- ❗ **事故につながるトラブルが発生したら、速やかに電源スイッチを OFF にする**
通行者が使用している杖やハイヒールのかかと部分、ショッピングカートなどのキャスターが、ガイドレールに挟まり、身動きがとれなくなるなどの事態が発生した場合は速やかに電源スイッチを OFF にし、通行者の安全を確保してください。

⚠ 注意

事故防止に関する注意

- ❗ **通行者の方へ注意喚起する**
ショッピングカートや大きな手荷物をもって通行されると、起動センサーや補助光電センサーが通行者を検知できず、自動ドアに衝突するおそれがあります。自動ドアが開いたことを確認した上でご通行いただけるよう配慮してください。

突風・強風時の注意

- ❗ **突風、強風（風速 15m/s 以上）時は電源スイッチを OFF にする**
風の影響で自動ドアの動作が不安定となり、ドアに通行者が衝突するおそれがあります。自動ドアの開閉は手動で行ってください。

● 利用される方へのご注意

施設所有者および管理責任者の方は、自動ドアを利用される方へ以下の注意喚起を行い、自動ドアを安全に運用してください。

⚠ 注意



ドアの軌道上に立ち止まらない
ドアに挟まれるおそれがあります。



**ドアに駆け込まない
斜めから進入しない**
ドアに衝突するおそれがあります。



安全上のご注意

● 利用される方へのご注意 (つづき)

⚠ 注意



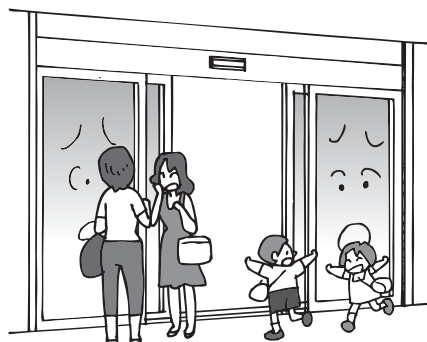
ドアが開いたことを確認してから 通行する

ドアに衝突するおそれがあります。



ドア付近で遊ばせない

ドアに衝突したり、挟まれたりするおそれがあります。



お子さまは大人が手を添えて通行 する

ドアに衝突したり、挟まれたりするおそれがあります。



ドアに指や足先を近づけない

ドアに挟まれるおそれがあります。

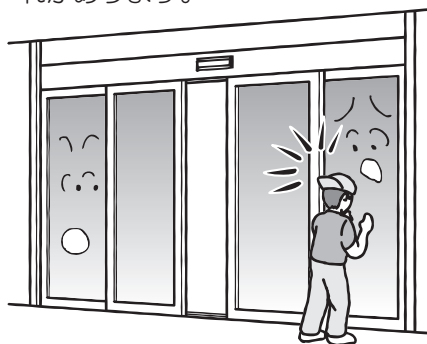


お身体の不自由な方が通行される 場合、ご本人および周囲の方が安全に 配慮する



フィックスにもたれない

ドアに衝突したり、挟まれたりするおそれがあります。

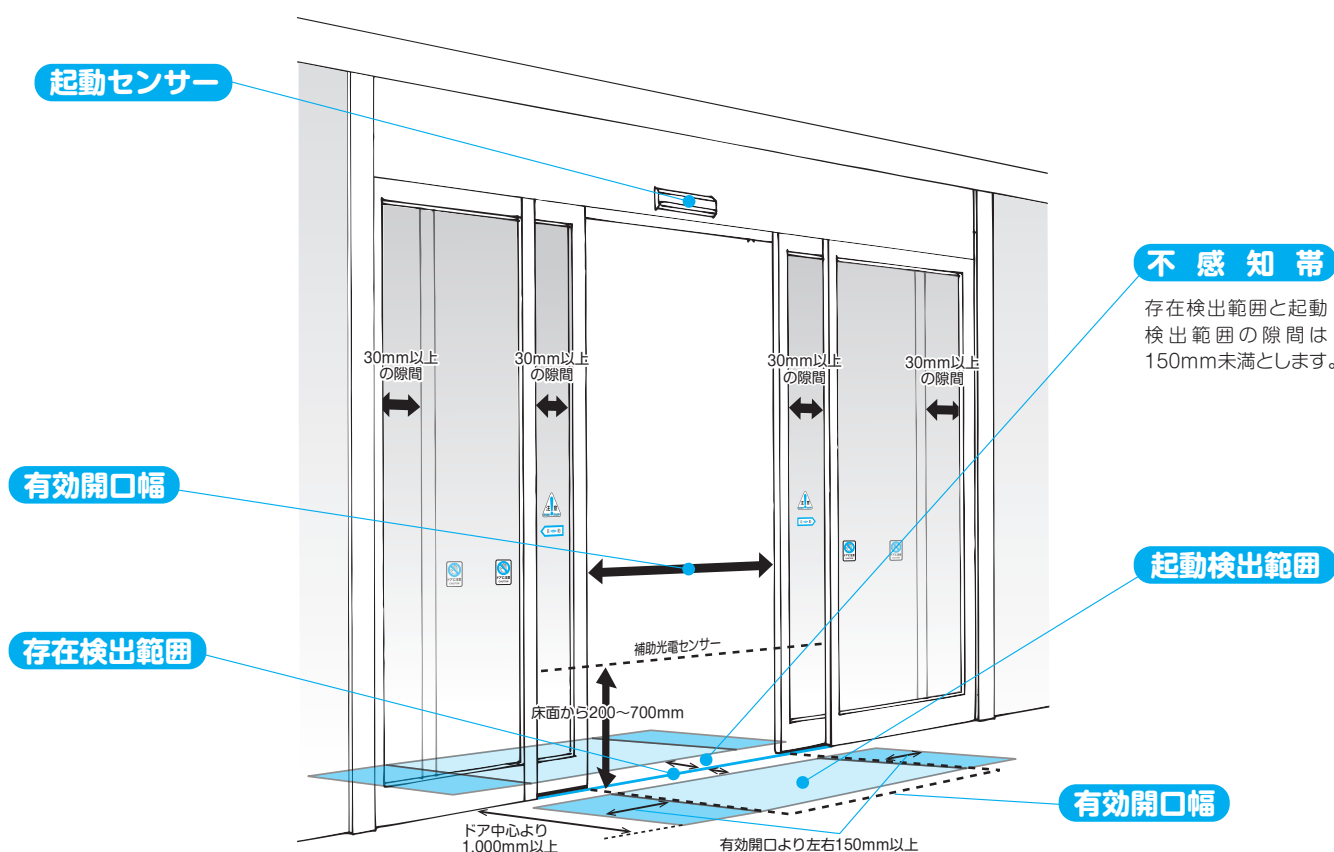


※フィックスは、開閉しない固定された建具です。

安全ガイドラインについて

全国自動ドア協会による「自動ドアを利用する通行者の安全性の向上を図ること」を目的とした「自動ドア安全ガイドライン」の策定にともない、弊社はこれに準拠した安全性の確保に努めています。

自動ドアの設置環境はさまざまなため、安全性の確保は自動ドア自体の対策だけでは不十分であり、設置計画から保守管理まで各段階における関係者（建築設計者、発注者、建物管理者）のご理解とご協力が必要です。以下、「自動ドア安全ガイドライン」を引用・抜粋した内容を掲示します。詳細につきましては、全国自動ドア協会のホームページ（<http://jada-info.jp/>）等を閲覧いただき、安全管理にお役立てください。

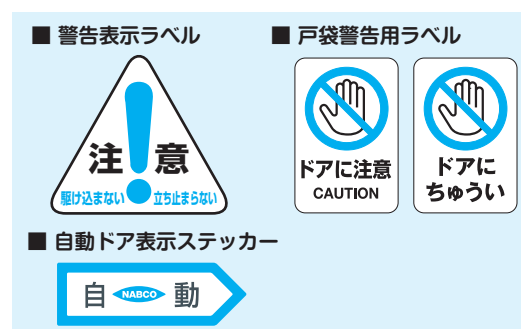


●開閉の速度と開放タイマ

	オフィスビル等	病院・公共施設等※
開き速度	500mm/秒以下	400mm/秒以下
閉じ速度	350mm/秒以下	250mm/秒以下
開放タイマ	1～5秒	可能な限り長く

※高齢者、子供連れ、車いす使用者などが多く利用する場所の例

●ラベル・ステッカー



● 本書の対象製品について

本書の対象となるナブコ自動ドア装置は、以下のとおりです。

製品名：DS型自動ドア開閉装置

【メモ】

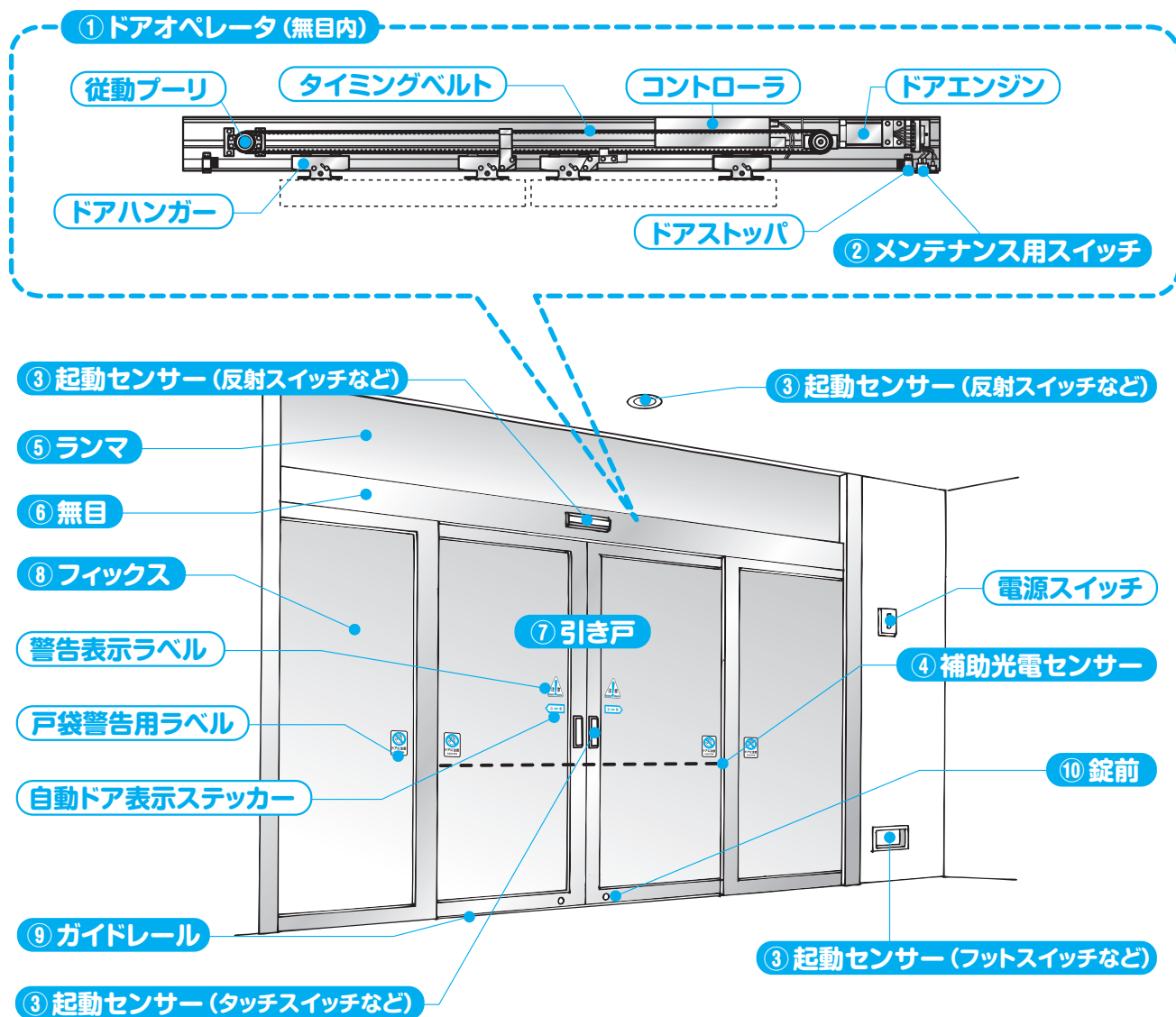
- ・装置の詳細な仕様は、製品カタログでご確認ください。
(製品カタログは、弊社のWebサイト (<https://nabco.nabtesco.com/>) からダウンロードできます。)
- ・本書では代表的な自動ドア装置(引き戸)を例として、装置の機能や取扱い方を説明しています。外観上および機能上、ご採用いただいた製品と合致しない記述もありますが、あらかじめご了承ください。

● 装置の構成

次のページの図は、自動ドア装置の設置例を「引き戸」で示したものです。

採用された自動ドアの種類や開閉のタイプにより、設置例とは異なる外観の製品をご利用いただいている場合があります。また、設置例は多種類の起動センサーを使用した図になっていますが、実際には設置場所の環境と想定される自動ドアの使用状況を考慮の上、最適な機種を選定しています。

● 装置の構成 (つづき)



① ドアオペレータ	引き戸を開閉動作させる駆動装置、制御装置の一式です。
② メンテナンス用スイッチ	メンテナンス時にドアオペレータの電源 ON、OFF に使用します。
③ 起動センサー	通行者を検知し、ドアオペレータに作動信号を送信します。
④ 補助光電センサー	起動センサーでは検知しにくいドア軌道上の人や物を検知し、ドアオペレータに作動信号を送信します。
⑤ ランマ	無目と天井の間にあたります。ガラスなどをはめ込んで構成します。
⑥ 無目	ドアオペレータなどを納めるためのケースです。
⑦ 引き戸	開閉するドア本体です。
⑧ フィックス	開閉しない固定された建具です。
⑨ ガイドレール	引き戸の床面に設置した案内用レールです。
⑩ 錠前	引き戸を施錠、解錠します。

センサーの機能について

センサーは、設置場所の環境と想定される自動ドアの使用状況を考慮の上、最適な機種を選定しています。ここでは一般的な起動センサーおよび補助センサーの使用上の注意と機能について説明します。

● センサー取扱い上の注意

センサーの性能が発揮されるよう、以下の点に注意してお使いください。

⚠ 注意

⊖ 各種センサーの検知エリア内に風で動く物を置かない、貼り付けない

傘立てや植木、ポスター、のれんなどの動く物を検知して、自動ドアが閉まらないことがあります。

● 起動センサーの機能

起動センサーは自動ドアを開けるためのセンサーです。光線反射方式や電波方式、タッチ方式などがあり、自動ドアの用途にあわせて選定しています。



光線反射・電波方式



赤外線やマイクロ波（電波）の反射により物体を検知し、ドアが開きます



タッチ方式



ドア面に設置したタッチプレートを手で軽く押すことにより、ドアが開きます

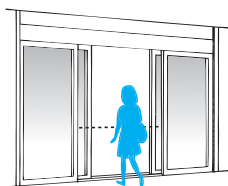
ドア面に手を近づけることにより、ドアが開きます

その他の起動スイッチ テンキースイッチ、押しボタンスイッチ、フットスイッチ、足踏みスイッチなど。

● 補助センサーの機能

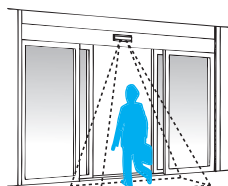
補助センサーは、自動ドア通過中の人や自動ドア間近で停止した人などが、閉じるドアに挟まれないよう安全性を高めるためのセンサーです。光電方式や光線反射方式、超音波方式などがあり、起動センサーとの組み合わせを考慮して選定しています。ドアの閉じ動作中に検知すると、ドアは自動的に反転し、全開します。

光電方式 方立取付



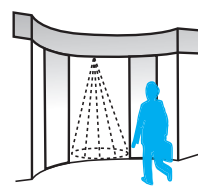
ドアの両脇に設置した投光器と受光器の間に通った光線を遮っている間は、開いたドアを閉じないようにします。

光線反射方式 無目取付



赤外線反射により物体を検知している間は、開いたドアを閉じないようにします。

超音波方式 無目取付



超音波を放射してエリアを監視し、監視エリアに人がいる間は、開いたドアを閉じないようにします。

自動ドアの初期動作について

ナブコ自動ドアは、マイコンによる自動ドアの動作制御を行っているため、電源スイッチをONにした直後は、毎回、「学習動作」を行います。

「学習動作」は、ドアの開ききる位置や閉まりきる位置をマイコンが判断するための制御プログラムであり、以下のような動作を非常にゆっくりとした速度で行います。

電源スイッチをONにしたとき	ドアが全開のとき、または半開のとき	低速で全閉します。 ※学習動作中にドアが途中で停止した場合は、必ず自動ドア装置の電源をOFFにしてください。自動ドアの軌道上に障害物がある場合は取り除き、手でドアを全閉にしてから再度、電源スイッチをONにしてください。 ※学習動作中は、起動センサーおよび補助光電センサーは働きません。
	ドアが全閉のとき	閉方向へ押し付け（約1秒）、全閉位置を確認します。

・上記の学習動作が終了すると、その後は通常動作に移行します。

自動ドアの開閉モードについて

標準的な開閉モードの動作および操作について説明します。採用された開閉モードを確認し、該当する記述を参照してください。ただし、開閉モードには数多くの種類があり、本書では一部の開閉モードのみ説明しています。採用された開閉モードの記述が見当たらない場合、装置に表示されているお問い合わせ先、あるいは巻末の「ナブコネットワーク」までご連絡ください。

● 全自動モード

室内および室外の起動センサーにより、ドアを“全自動開閉”する代表的な開閉モードです。



- 起動センサーが通行者を検知すると、ドアは自動的に全開します。通行者がいなくなりしばらくすると、ドアは自動的に全閉します。
- ドアの閉じ動作中に起動センサーまたは補助光電センサーが通行者を検知すると、ドアは自動的に反転し、全開します。通行者がいなくなりしばらくすると、ドアは自動的に全閉します。
- ドアの閉じ動作中に障害物などに衝突すると、ドアは自動的に反転し、全開します。その後、ドアは自動的に全閉します。
- ドアの開き動作中に障害物などに衝突すると、ドアは開き動作を停止します。その後、ドアは自動的に全閉します。

● 全半開モード

開位置を、全開位置と半開位置のどちらかから選び、切り換えることのできる開閉モードです。

- 起動センサーが通行者を検知すると、ドアは自動的に全開（または半開）します。通行者がいなくなりしばらくすると、ドアは自動的に全閉します。
- ドアの閉じ動作中に起動センサーまたは補助光電センサーが通行者を検知すると、ドアは自動的に反転し、全開（または半開）します。通行者がいなくなりしばらくすると、ドアは自動的に全閉します。
- ドアの閉じ動作中に障害物などに衝突すると、ドアは自動的に反転し、全開（または半開）します。その後、ドアは自動的に全閉します。
- ドアの開き動作中に障害物などに衝突すると、ドアは開き動作を停止します。その後、ドアは自動的に全閉します。

● ラチェットモード

起動センサーが検知することにより、開または閉動作を行うモードです。

ラチェットモードの起動センサーには、フットスイッチ（8ページ参照）などが使用されます。

- 起動センサーが検知すると、ドアは全開します。再度、起動センサーが検知すると、ドアは全閉します。
- ドアの閉じ動作中に起動センサーが検知すると、ドアは自動的に反転し、全開します。
- ドアの閉じ動作中に補助光電センサーが通行者を検知すると、ドアは自動的に反転し、全開します。通行者がいなくなりしばらくすると、ドアは自動的に全閉します。
- ドアの閉じ動作中に障害物などに衝突すると、ドアは自動的に反転し、全開します。その後、ドアは自動的に全閉します。
- ドアの開き動作中に障害物などに衝突すると、ドアは開き動作を停止します。その後、再度、起動センサーが検知すると、ドアは自動的に全閉します。

日常に行うナブコ自動ドア装置の操作について説明します。

⚠ 警告

- ④ 濡れた手で電源スイッチを操作しない
感電するおそれがあります。
- ❗ 電源スイッチおよびその周囲が濡れていた場合、供給電源（ブレーカスイッチ）を OFF にする
乾いた布などで水分を拭き取り、通電部を十分に乾燥させてください。
- ④ 無目の点検口は開けない
無目内に設置されているドアオペレータには決して触れない
感電および駆動部に手指を挟むなどのおそれがあります。

● 始業と終業の操作

始業と終業の操作について説明します。始業前点検、および始業・終業の操作中に何らかの異常が発生した場合は、「故障かな?と思ったら」(16ページ)の内容も合わせて参照してください。

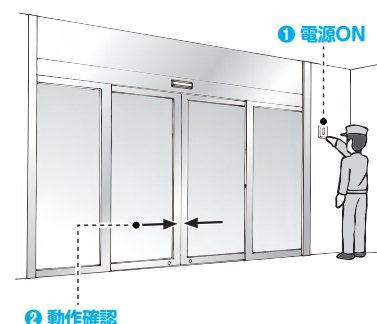
始業前の点検

- 1 錠前付きの自動ドアの場合、必ず最初に解錠します。
- 2 自動ドアの外観に異常がないか確認します。
⇒ サッシの破損やフレームの歪みなどが発生していないか確認してください。
⇒ 異常があった場合は、以下の対処を実施してください。

- ・ 予期せぬ事故を引き起こさないため、自動ドアに電源が供給されないようにしてください。
 - ・ 装置に表示されているお問い合わせ先、あるいは巻末の「ナブコネットワーク」までご連絡ください。
- 3 ガイドレールがある自動ドアの場合、ガイドレールに異物が入り込んでいないか確認します。
⇒ 手動で自動ドアを開けてください。
⇒ ガイドレールに異物が挟まっている場合は取り除いてください。
⇒ 手動で自動ドアを全閉位置に戻してください。
- 4 自動ドアの動作範囲に人がいないこと、物が置かれていないことを確認します。
⇒ 自動ドアの動作範囲に人がいる場合は、動作範囲から離れてもらってください。
⇒ 物が置かれている場合は、除去してください。

始業の操作

- 1 自動ドアの電源スイッチを ON にします。
- 2 初期動作（10 ページ参照）が行われたあと、通常動作に移行していることを確認します。



終業の操作

⚠ 注意

⊗ ドアの開閉動作中に電源を OFF にしない

惰性走行によりドア同士の衝突やフレームとの接触を引き起こし、機器が破損するおそれがあります。

❗ 錠前付き自動ドアは、必ず先に電源を OFF にしてから施錠を行う

通電中に施錠すると、ドアの動作により機器を破損するおそれがあります。

- 1 自動ドアを利用している人がいないことを確認します。
- 2 自動ドアが全閉していることを確認します。
- 3 電源スイッチを OFF にします。
- 4 錠前付き自動ドアの場合、施錠します。



● 停電時の対処

自動ドアの運用中に停電が起こった場合の対処について説明します。運用中に何らかの異常が発生した場合は、「故障かな?と思ったら」（16ページ）の内容も合わせて参照してください。

- 1 停電が発生したら、速やかに自動ドアの電源スイッチを OFF にします。
⇒ 停電中に電源スイッチを ON のままにすると、通電再開時に自動ドアが予期できない動作をし、通行者に接触・衝突するなどの事故を招くおそれがあります。
⇒ ドアが開閉動作の途中で停止した場合は、手動でドアを動かすことができます。（ドアはゆっくりと動かしてください。枠やフィックスとドアの間に手指を挟まないよう注意してください。）
- 2 停電が解消し、通電が再開したら運転を再開します。
⇒ 前項を参照し、「始業前の点検」と「始業の操作」を実施してください。

日常のお手入れ

装置をいつまでも安全で快適にご使用いただくためには、保守契約（17ページ参照）を締結していただくとともに、お客様ご自身による次の日常の清掃とお手入れの実施をお願い致します。

⚠ 警告

- ❶ 日常の清掃・お手入れを行う際は、必ず電源スイッチを OFF にする
ドアに手指を挟むおそれがあります。

⚠ 注意

- ❷ 各種センサーは、決して水洗いしない
故障の原因となります。
- ❸ 補助光電センサーに汚れや結露・水滴などがついているときは、乾いた布で拭き取る
汚れや水滴のため自動ドアが閉まらないことがあります。

作業中は、「清掃・点検中」等の表示を掲げてください。

清掃対象	清掃内容および方法	留意点
ドアの軌道部分 および周辺	・ゴミを除去してください。（特にガイドレールの溝やセンサーの検知エリア） ・床面が濡れている場合は、乾いた布で水気を拭き取ってください。（濡れたまま放置すると、センサーが検知し誤動作の原因となる場合があります。）	設置場所が屋外に面している場合、落葉の時期や暴風雨の後などは念入りに清掃してください。
サッシ	・軽度な汚れや手あかの場合 中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取り、乾いた布で水気および洗剤を拭き取ってください。 ・落ちにくい汚れや油性の汚れの場合 アルコール・ベンジンなどで拭き取り、乾いた布で水気を拭き取ってください。	アルコール、ベンジンなどを使用して清掃すると、サッシ表面の材質によっては、傷や変色、サッシのくもりなどを引き起こす場合があります。アルコール、ベンジンなどを使用しても問題のない材質であるかどうか、事前に確認してください。
各種センサー	・センサーが汚れた場合は、きれいな乾いた布で拭き取ってください。（センサーの検知窓にほこりなどが付着すると、センサー感度が鈍くなり、不具合の原因となります。）	清掃によってセンサーの取り付け角度が変わらないよう、注意してください。（センサーの取り付け角度が変わると検知範囲が変わり、ドアが正常に開閉しなくなる場合があります。）

故障かな？と思ったら

自動ドア装置に異常が発生した場合、その症状を確認し、以下の症状別の対処を実施してください。対処を実施しても状態が改善されない場合は、装置に表示されているお問い合わせ先、あるいは巻末の「ナブコネットワーク」へお早めにご連絡ください。

⚠ 警告

⊖ 本製品の分解および改造は決して行わない

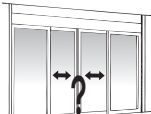
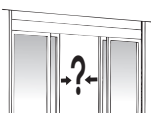
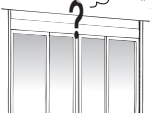
感電やドアに手指を挟むなど、予期せぬ事故を招くおそれがあります。
(お客様による分解および改造が行われた場合、弊社は一切の責任を負いません。)

⚠ 注意

❗ 異常の原因が分からない場合は、速やかに電源スイッチを OFF にする

以下の症状・原因に該当しない異常が発生した場合は、予期せぬ事故を引き起こさないため、自動ドアに電源が供給されないようにしてください。

装置に表示されているお問い合わせ先、あるいは巻末の「ナブコネットワーク」までご連絡ください。

症 状	原 因	対 処
ドアが自動開閉しない。 (手動でも開閉できない) 	ドアの軌道上に障害物がある。 または挟まっている。	電源スイッチを OFF にして、障害物を取り除いてください。
	錠前が施錠されたままになっている。	電源スイッチを OFF にして、錠前を解錠してください。
ドアが自動開閉しない。 (手動では開閉できる) 	電源スイッチが ON になっていない。	電源スイッチを ON にしてください。 メンテナンス用スイッチのランプが点灯しているか確認してください。
	起動センサーが検知しない。	・ 電源スイッチを OFF にして、装置に表示されているお問い合わせ先、あるいは巻末の「ナブコネットワーク」へご連絡ください。 ・ 起動センサーがタッチスイッチの場合は電池寿命を確認し、必要に応じて電池交換してください。(電池寿命の目安は1～3年です。)
開いたドアが閉まらない。 	ドアの軌道上に障害物がある。 または挟まっている。	電源スイッチを OFF にして、障害物を取り除いてください。
	起動センサーまたは補助光電センサーが検知したままである。	センサーが検知している物を取り除いてください。
ドアオペレータから異音、異臭がする。 	ドアオペレータの故障が考えられます。	電源スイッチを OFF にして、装置に表示されているお問い合わせ先、あるいは巻末の「ナブコネットワーク」へご連絡ください。

保守点検について

■ 保守契約のお勧め

安全に、そしていつまでも快適に自動ドア装置をご使用いただくため、保守契約の締結をお勧めいたしております。

保守契約の概要は次のとおりです。

- ナブコ自動ドア販売施工代理店と、保守契約をしていただきます。
- 定期的な装置の保守点検などを、各販売施工代理店またはその指定会社が責任をもって行います。
- 保守点検の項目は契約の内容により異なります。

ただし、装置が設置されている地域や環境の特殊性による特別なもの、天災その他の不可抗力に起因する不具合については、契約に含まず別途有償となります。これらの保守契約ならびに保守点検項目の詳細については、装置に表示されているお問い合わせ先、あるいは巻末の「ナブコネットワーク」までお問い合わせください。

自動ドア装置は、保守点検（定期的な点検、調整、給油、修理、部品交換など）を実施のうえ、運用してください。保守点検を実施せずにご使用になると、装置の故障や重大な人身事故を招くおそれがあります。

品質保証とアフターサービス

■ 保証期間

納入した装置の保証期間は、お引渡し後1年間です。

■ 保証範囲

お引渡しの際、発行致しました保証書の内容をご確認ください。

■ 保守部品の供給

弊社では販売終了した製品^{※1}の保守部品を7年間保有しております。

ただし、やむをえない理由により上記期間中であっても予告無く販売を終了することがありますので予めご了承ください。

※1 弊社ホームページ (<https://nabco.nabtesco.com/discontinued/>) でご確認ください。

※ 製品保証期間終了後の修理・点検等、アフターサービスについてご不明な点は、装置に表示されているお問い合わせ先、あるいは巻末の「ナブコネットワーク」までお問い合わせください。

ナブコネットワーク

自  動

東日本地区販売会社 **ナブコシステム株式会社** ☎ (03) 3593-0181
コールセンター ☎ 0120-0725-86
<http://www.nabcosystem.co.jp/>

西日本地区販売会社 **ナブコドア株式会社** ☎ (06) 6136-7284
コールセンター ☎ 0120-891-222
<https://www.nabco-door.co.jp/>

九州地区販売会社 **オリエント産業株式会社** ☎ (092) 781-7563
コールセンター ☎ 0120-686-727
<http://www.orient-sangyo.co.jp/>

■ 連絡先

製造元 **ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー**
<https://nabco.nabtesco.com/>
〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目7番9号(JA共済ビル) TEL.(03)5213-1156

＜本書に関するご注意＞

- ・本書の著作権は弊社が所有しています。弊社の許可なしに本書の内容を転載、複写することは禁じられています。
- ・装置の改良などにより、本書の内容と装置の一部が異なる場合があります。
- ・万一、本書に乱丁、落丁があった場合はお取替えいたします。その際は「ナブコネットワーク」までご連絡ください。

